



晩秋の下栗

【撮影者】三浦泰明さん（飯田市在住）

目次

- 特集記事
初の病院祭が開催されました… 2～3
- ねっとわーく
下條診療所 …………… 4
前沢医院 …………… 5
- お祝い膳を始めました …………… 4～5
- 災害救急医療シミュレーション訓練… 6
- 検査の窓 …………… 7
病理検査とは？
- 話題の広場 …………… 7
緩和ケアセミナー2010
院内コンサート
- お知らせ …………… 8
インフルエンザ予防接種を希望される皆様へ
- 職場紹介 …………… 8
臨床検査科の紹介 その①（中央検査室）
- 新任医師の紹介 …………… 8

飯田市立病院 基本理念

私たちは、地域の皆さんの健康を支え信頼される医療を実践します

飯田市立病院 基本方針

- 1 私たちは、安全・安心で良質な医療を提供します
- 2 私たちは、患者さんの権利と意思を尊重し、地域の皆さんに開かれた病院づくりを行います
- 3 私たちは、地域の保健、医療、福祉機関と密接に連携します
- 4 私たちは、教育・研修機能を高め、医療水準の向上と人間性豊かな医療人の育成に努めます
- 5 私たちは、公共性と経済性を考慮し、健全な病院経営に努めます

飯田市立病院 理念行動指針

私たちは、誠意 熱意 創意をもって医療を実践します

大盛況!! 初の病院祭開催される 10月23日(土)

メインテーマ
みんなが健康で
あるために
こんにちは
～飯田市立病院～
です

当院初の試みである病院祭を、去る10月23日(土)に開催しました。
日頃お世話になっている地域の皆様に、感謝の気持ちを何らかの形で還元
したいと考えていたことと、市議会の一般質問で病院祭の開催を望むご意見
を戴いたことから、このようなイベントを企画しました。

会場 ・1階ロビー・外来待合スペース、2階講義室、中庭ほか

開催の目的

- ・地域に開かれ、地域に親しまれる病院づくりをめざす。
- ・地域の少年少女が、将来医療職を目指す人となるよう医療に関心を持たせる。
- ・地域のボランティア要員を育てる
- ・病院スタッフのコミュニケーションの活性化、団結力の向上、職域を越えた連携を目指す。

主な内容

- ・手術体験コーナー
- ・院内施設機器見学ツアー
- ・医療講演会
- ・医療進路相談コーナー
- ・院長と語る会
- ・地域の小学生の演奏など



伊賀良小学校の皆さん



ハーラウブルメリアM4の皆さん



フルアウトダンススクールの皆さん

屋外会場
の様子

実行委員長あいさつ

10月23日、当院初の病院祭が開催されました。会場となった病院の1、2階は、数々の企画に訪れる人であふれかえり、解放された中庭は、並んだ屋台を利用し次々と催されるイベントを楽しみ人々で賑やかでした。日常とは全く異なる市立病院の1日でした。病院内を紹介する施設機器見学ツアーや、電気メスなどを体験できる手術体験コーナー、500円で血液検査を受けられるワンコイン検査など、予想を超える人気で市民の皆様の健康や医療に対する関心の高さを実感しました。今回のテーマにあるとおり、市民の皆様に健康を意識していただき、病院スタッフの顔を知り市立病院をより深く理解していただく機会であったと思います。ご協力いただいた多くの方々に深く感謝致します。



実行委員長 山本一也



進路相談



手洗い体験



緩和ケア



顕微鏡コーナー



救命救急体験



大抽選会



乳がん講演会



健康チェック



子ども工作コーナー



手術体験



医療講演会



院長と語る会



閉会セレモニー

手術体験コーナー・見学ツアーなど、職員一同が知恵を出し合ってイベントを実施したほか、地域の皆様の楽しい演奏などが行われました。当日は天候にも恵まれたことから来場者約3,000人と、多くのご来場を頂き大変盛り上がった病院祭になりました。

しかしながら、予想を超える来場者のため、行き届かない点が多々あり深くお詫びいたしますとともに、今後の課題とさせていただきます。改めまして、ご来場頂いた皆様、また色々ご協力頂いた皆様に心より感謝申し上げます。

病院祭実行委員会事務局



下條診療所

(下條村陽阜)



在宅支援診療所として

輝山会統括診療所長 仁科 裕之

下條診療所は、医療法人輝山会としては、2番目の診療所として、下條村より業務委託を受けて、平成14年6月に開設しました。

現在、私は、輝山会が開設する下條をはじめとする3診療所(下條、上久堅、下久堅)を統括・一元管理する任にあります。輝山会記念病院の医師たちの協力のもとに、診療所としての役割である地域の患者さん、とりわけ、高齢者の健康管理と在宅医療を中心とした診療に当たっています。

特に、訪問診療では、訪問看護と連携を取りながら、通院で

きない患者様の在宅での診療が中心です。

また、在宅支援診療所として、365日24時間体制で、終末期を在宅で迎えたい方の支援のほか、患者様からの往診の依頼や相談などに対応できるよう体制を整えています。

下條村での診療は、9年目に入りましたが、保健・医療・福祉を三位一体とした下條村の政策は、お年寄りや子供を含め、全ての住民にとって大変良い環境が整っています。

今後も、飯田市立病院および輝山会記念病院をはじめ、その他の医療機関、介護保険施設と

の連携を一層深め、住民が安心して生活ができるよう、在宅支援診療所としての役割を果たしてまいります。



仁科先生(前列)とスタッフの皆様

所在地	〒399-2102 下伊那郡下條村陽阜1 (いきいきランド併設)	
	☎0260-27-1191	
診療科目	内科 外科	
診療時間	外来診療 9:00~12:00【月~金曜日】 18:00~20:00【水曜日】	
	訪問診療 13:00~18:00【月~金曜日】	
往診	可	
休診	土曜日、日曜日、祝日	駐車場 有



『お祝い膳』を始めました(食養科)



飯田市立病院では9月より患者サービスの向上を目的に、お祝いの意味も込めて『お祝い膳』の提供を始めました。

治療に貢献する食事を提供するとともに、少しでも患者さんのニーズに合わせた食事となるよう、献立内容に関してプロから知識と技術を学びました。

この『お祝い膳』は出産された方に、メッセージカードを添えて提供しています。召し上がって頂いた方からは『おいしかった』『お祝いされた気持ちになり、うれしかった』等のご意見を頂いております。今後も、今まで以上に食の知識を深め、患者さんに満足していただけるよう食のアメニティを考案していきます。



登録医紹介

登録医とは共同診療、検査機器の利用、研修参加などを一緒に行って、より良質な医療を地域の皆様に提供するため、協力いただいている医療機関です。

前 沢 医 院

(飯田市主税町)



健康のきっかけ

前沢医院 医師 **前澤 恵子** 院長
前澤 浩

当院は昭和42年に前沢産婦人科耳鼻咽喉科として開院しました。平成17年10月からは「前沢医院」に名称を改め、耳鼻咽喉科専門医の前澤恵子、脳神経外科専門医の前澤浩が診療をしています。診療を続けてきた中で感じていることはどんな病気でも不安な気持ちが症状をより悪くしているということです。そんなことから専門的な分野にとられることなく、身体の不調や不安を感じた時に気軽にご相談に来ていただきたいと考え、プライマリーケア認定医にもなりました。また、在宅医療・訪問診療にも積極的に取り組み、

地域の頼れる町医者をめざしています。

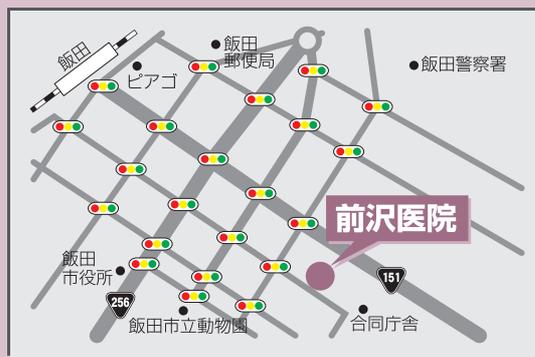
最近はニュースなどでもストレスが溜まる話ばかりです。聞くだけで血圧が上がって頭痛がしそうですね。『何だかイライラする』『愚痴っぽくなった』『メタボと言われた』『眠れない』『めまいがする』という人はいませんか。大丈夫です！ちょっとした身体の不調により、健康になるきっかけを手にしたのです。そのような時はどうぞ御出で下さい。最大限お役に

立つようがんばります。より専門的な治療が必要な場合は設備、人員豊富な飯田市立病院をご紹介します。今後ともよろしくお願いたします。



前澤恵子先生(中央右)、前澤浩先生(中央左)とスタッフの皆様

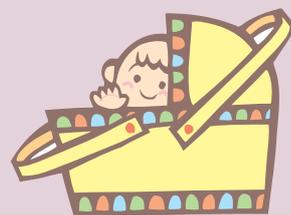
- 所在地** 〒395-0032 飯田市主税町22
☎0265-23-5865
- 診療科目** 内科一般 脳神経外科 神経内科
耳鼻咽喉科
- 診療時間** 8:30~12:30 14:00~18:00
- 往診** 可
- 休診** 第2・4土曜日、日曜日、土曜日午後、祝日
- 駐車場** 有



プロの調理師 萩原幸夫さんによる指導の様子



季節により内容が変わります



災害救急医療シミュレーション訓練を終えて (8/29 208名参加)

目的

大規模地震が発生した場合、多くの負傷者が運び込まれ、迅速で的確な初期対応が必要となります。災害拠点病院として必要な救急医療体制を整備し対応することを目的に災害救急医療シミュレーション訓練を実施しました。訓練は「飯田市」「飯伊包括医療協議会」「市立病院」の3つの枠組みから構成されており、それぞれが連携を取り合いながら、相互の訓練に組み込まれる形で実施されました。

本年度の重点事項は以下の4点です。

- ① 病院本部体制整備と本部機能の発揮
- ② 発災初期の自衛消防活動等の確認
- ③ 迅速かつ適切な情報収集と情報処理
- ④ D M A T 隊との連携体制の整備



DMAT隊



トリアージの様子



患者情報の収集



病院本部体制

主な反省点

- ① 本部機能を医療現場と離して二階に設置したことで、情報処理に集中でき被災状況・復旧の把握や診療に関わる重要な意思決定を的確に行うことができた。
- ② 院内通信機器類は使用不能を想定し、情報伝達の手段を人としたため、情報連絡班の人員確保と本部で処理すべき情報の範囲が課題となった。
- ③ 外部との連絡調整では、衛星携帯・災害時優先電話が使用しやすい環境整備が必要である。
- ④ D M A T 隊としての訓練参加は初の試みであり、人員確保や病院本部との連携・連絡方法などさらに工夫が必要である。

検査の窓

その17

病理検査とは？

現在、日本人の4人に1人が癌で命を落とす時代であり、医療の中で癌の診断と治療が占める割合は格段に大きくなっています。病理検査とは、がんなどの病気の診断や原因の究明を目的として、手術または検査で採取された臓器、組織、細胞などを対象に顕微鏡を用いて詳しい診断を行う検査です。病理組織検査、細胞診検査、病理解剖（剖検）が含まれます。

今回は、病理組織検査について詳しく説明していきます。



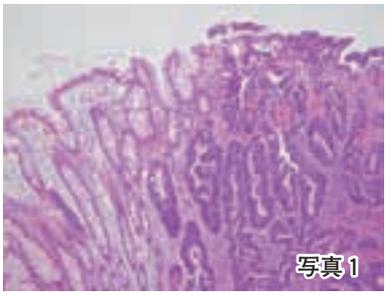
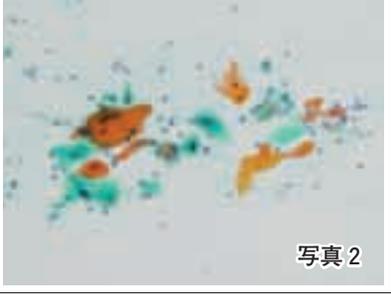
病理検査の種類	内 容	顕微鏡写真
病理組織検査	手術材料や生検材料などの標本を作製し顕微鏡観察により病理医が診断します。	 写真1
細胞診検査	臨床検査技師の資格を有し日本臨床細胞学会が認定した細胞検査士が、がん細胞を拾い上げ、指導医とともに診断します。	 写真2
病理解剖	提供された組織について病理標本を作製し、同様に死因や病因を究明します。病理解剖は死体解剖保存法に従って死体解剖資格を有する医師が実施します。	

写真1：大腸の正常組織とがん組織の境界（HE染色）

写真2：扁平上皮癌細胞（パパニコロウ染色）……オレンジ色に染まっている細胞

話題の 大場

緩和ケア セミナー2010開催

9/19・20

飯伊圏域でがんに携わる医師を対象とした、緩和ケアセミナーがシルクホテルで開催されました。がん患者が可能な限り質の高い療養生活を送れるよう、身体症状の緩和や精神心理的な問題への援助などについて2日間のカリキュラムを学びました。



院内コンサート ～混声合唱 コールハイネ コンサート～

9/28(火)

玄関ロビーにおいてコールハイネの皆さんによるコンサートが開催されました。「りんごの歌」や「青い山脈」をはじめとする素晴らしい混声合唱や、代表の林さんによるマリンバ演奏で楽しいひと時を過ごしました。





お知らせ

インフルエンザ予防接種を希望される皆様へ

飯田市立病院では、インフルエンザ予防接種を以下のように行いますので
ご留意ください。



- ① 予防接種のための予約は原則行いません。
- ② 当院に定期受診されている方は、主治医にご相談ください。
- ③ 当院へ予防接種のみで来院される方は初診受診となります。
受付時間は、8:30から11:30までです。診察までの待ち時間が長くなることをご了承ください。
- ④ 小児科(中学生以下)での予防接種は定期受診者のみとさせていただきます。
定期受診されていない方は他の医療機関で接種いただくこととなります。
- ⑤ 土曜日・日曜日、祝祭日、年末年始(12月29日から1月3日)に予防接種は行いません。
- ⑥ 65歳以上の方は、市町村が発行する予診票をご持参ください。
- ⑦ 当院ではインフルエンザワクチンがなくなり次第、予防接種を終了いたします。

● ご不明なことがございましたらお問い合わせください。ご理解とご協力をお願いします。●

シリーズ ● 職場紹介 ●

その26

【臨床検査科の紹介 その①(中央検査室)】

臨床検査科は、中央検査室・生理機能検査室・病理検査室の3部門に大きく分かれ、それぞれに専門の認定資格を有する臨床検査技師25名が勤務しています。

今回から3回に亘り臨床検査科を紹介します。

中央検査室は病院1階の採血室を含むところに位置し、血液・生化学・輸血・細菌・尿・遺伝子等、多くの検査を実施し、病気の診断、病態の把握、経過観察に役立っています。

正確で精度の高い検査結果が提供できるよう、精度管理・

コントロールを実施し精度の維持に努め、また、患者さんの待ち時間を少なくするよう定期的に待ち時間調査を実施し、迅速な結果報告に心がけ、緊急時にも24時間体制で対応し、常に診療に必要なとされる新たな検査項目の検討や、機器導入を図り、先進医療に対応できるよう心がけています。最近では免疫法を用いた結核検査を導入し、院内のみならず、近隣の病院から多く

の依頼を受け早期発見・治療に寄与しています。

今後も、日進月歩の医療に対し、学習意欲を持ち、地域の中核病院としての役割を担えるよう業務に努めていきます。



あ と が き

今年もあと1ヶ月足らずとなりました。先日開催された病院祭ではスタッフとして参加させていただき、地域の皆さんと接することで病院への関心の高さを直に感じる事ができました。これからもより多くの地域の皆さんに親しんでいただける病院となるよう、日々の職務に携わりたいと思いました。

(編集委員 片桐裕子)

新任医師の紹介

平成22年8月～10月



産婦人科
古川 哲平
(ふるかわ てっぺい)
平成17年3月卒業
平成22年10月1日着任
前勤務病院
佐久総合病院



耳鼻咽喉科
吉村 豪兼
(よしむら ひでかね)
平成19年3月卒業
平成22年10月1日着任
前勤務病院
相澤病院